

# メキシコにおけるニアショアリングの影響

- メキシコでは近年、ニアショアリング（注）の影響により、外国直接投資の受け入れが活況。USMCAも後押しし、トランプ関税下の2025年も高い水準を維持。投資額は約409億ドルに上る。
- 日本からメキシコへの直接投資は少し落ち着きが見られるものの、2025年9月時点で2023年に近い約29億ドル近くとなっている。

メキシコにおける外国直接投資受入額  
(国際収支ベース、ネット、フロー、年別)

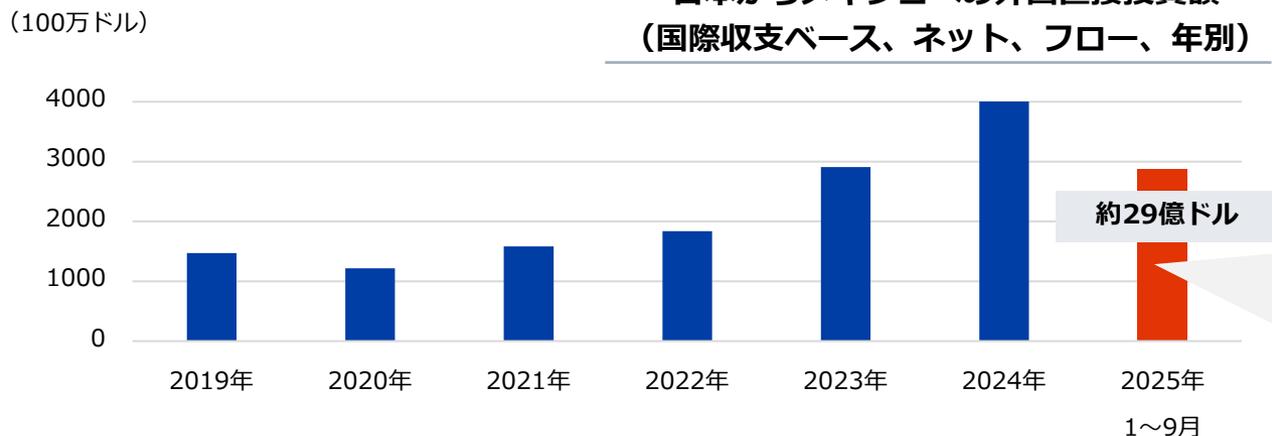
(注) ここでは、米国市場に近接するメキシコへ、企業が既存の事業拠点を移す動きを指す



うち、およそ37%を占める152億ドルが  
「**製造業**」への投資

その中でも、半分以上の82億ドルが  
「**自動車産業**」への投資

日本からメキシコへの外国直接投資額  
(国際収支ベース、ネット、フロー、年別)



うち、およそ95%を占める27億ドルが  
「**製造業**」への投資

その中でも、ほとんどの26億ドルが  
「**自動車産業**」への投資

ただし、「新規投資」ではなく、  
既進出企業による「利益の再投資」  
などが中心

(注) 2026年1月確認分。  
(出所) メキシコ経済省外国投資局 (Cifras originalmente publicadas) からジェトロ作成。